



PLUS ULTRA

# 富キャン Express

## Vol.26



~ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ~ 白鷗大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

### 富田校舎2年生修学旅行 カリフォルニアの広く青い空 教頭 須藤 敏哉

須藤 敏哉



皆さんこんにちは。教頭の須藤です。今日の試験は十分に実力を発揮できたでしょうか。いよいよ入試のシーズンとなり戦々恐々とした気持ちの人も多いと思います。二つ試験が終わったところでちよつと息をこめては高校入学後の楽しみの二つ、修学旅行の報告をしたいと思います。

富田キャンパスでは、11月の初旬に2年生の修学旅行が実施されました。本校の修学旅行は選択制です。今回は、アメリカ西海岸と沖縄の2コースでの実施となりました。私は、アメリカ西海岸コースを選んだ151名の生徒に同行してきました。

東京国際空港(羽田)から約10時間でロサンゼルス空港です。出迎えてくれたのはカリフォルニアの広く青い空。カリフォルニアは土地が広く高層ビルの必要がないので、視界を遮るものがなく、青い空がどこまでも広がっているのです。道路は片側5車線の高速道路。驚いたのは、日本車の何と多いこと！右側通行なのと軽自動車が多走っていないのが日本との違いです。向かったのはカリフォルニア・サイエンス・センター。ここでは、スペースシャトルに関連する展示物をたくさん見学できます。特にスペースシャトル「エンターパー」は、3人の日本人宇宙飛行士を乗せたの

を含めて計25回も宇宙へ行った本物の機体です。ので、遙か

彼方の宇宙空間が想像され、とても感慨深いものがありました。この旅行中の宿舎は、「ナッツベリーファーム」というスヌーピーの公式テーマパークに隣接したオフィシャルホテルです。ホテルに着いて長い長い1日目が終わりました。時差の関係で初日は41時間。もちろん飛行機で仮眠はできませんが、さすがに疲れしました。

2日目のスタートは、UCLAでのキャンパスツアーです。生徒たちはグループに分かれ、UCLAの現役大学生に案内してもらいます。大学生の中には、全く日本語のできない人もいますが、何とかコミュニケーションをとり、生徒たちは、大学のスケールの大きさと学生の向学心の高さに感心しきりでした。その後、ロサンゼルス代表的な観光スポットであるサンタモニカへ移動し、グループでのミッション型行動を行いました。LAやサンタモニカに因んだ質問用紙(Q&Aすべて英語)が配られ、生徒たちは仲間と共に、街の人々にインタビューなどをしながら問題を解き、高得点を目指します。2日目

は、現地の人々と積極的にコミュニケーションをとることが求められた1日でした。

3日目はハリウッドです。アカデミー賞の表彰式でレッド・カーペットが敷かれる「ドルビーシアター」の階段を登り、スター気分を味わいました。午後は、大谷翔平選手がいるアナハイムの「エンゼルスタジアム」に寄ってからホテルに戻り、夕食前に、現地で活躍する日本人の方の講演を伺いました。講演では、挫折を乗り越え、前向きに力強く進んでいくことの大切さを強調されていました。生徒からの質問がたくさん出て、予定の時間をオーバーしましたが、講師の方からその積極性を大いに評価され、本校の生徒の良さを改めて見直す機会になりました。

4日目は、アイスランド、ユニバーサルスタジオ、グランドキャニオンの中から選び、1日楽しみます。私は、グランドキャニオンコースに参加しました。小型のプロペラ機で1時間半ほどかけて移動すると、富士山の5合目とほぼ同じ標高とあって凍える寒さでしたが、案内されたグランドキャニオンは、あまりのスケールの大きさに圧倒され寒さを忘れるほどでした。このスケールは、日本ではなかなか体験できない、アメリカならではのものではないでしょうか。

と気づいた生徒も多かったようです。同行した私にとっても貴重な体験でした。

皆さん。高校ではこんなワクワクする貴重な体験が、たくさん待っています。冬来たりなば春遠からじ。夢咲く春に向けて、健闘を祈ります。

### MCCDS 語学研修

9月25日から10月5日までの11日間、姉妹校である米国マディソンカントリー・デイ・スクール(以下MCCDS)へ9名の代表生徒が派遣されました。MCCDSの生徒の家庭にホームステイしながらMCCDSへ登校し、バディと一緒に授業や学校行事などに参加しました。

訪問中に、本校生徒は、栃木県や群馬県の観光地・特産品等をMCCDSの生徒に紹介する機会に恵まれました。また、ハロウィンの時季なので、パンフキンやコウモリを折り紙で折る方法を小学生に紹介しました。

今回の国際交流は、日頃学んできた英語を実際にネイティブの前で使う絶好の機会になりました。また、教室ではできない貴重な経験をすることができました。



小学生と折り紙をしている様子

### 修学旅行 沖縄5日間

11月9日から13日までの4泊5日の日程で、富田校舎の沖縄修学旅行が実施されました。最初に訪れた石垣島では、マリンスポーツを行ったり、竹富島で伝統的な沖縄の生活を目の当たりにしたり、と充実した内容でした。本島でも、美ら海水族館や南部戦跡などを訪問し、様々な価値観に触れる良い機会となりました。

#### 修学旅行の思い出

中高貴教育コース2年1組  
菊川 拓聖(白鷺定利中)

私は今回4泊5日で石垣島、竹富島、沖縄本島を巡る修学旅行に行きました。先生と添乗員さんを含めてたった14人という少人数での旅行でしたが、とても楽しかったと思えました。

玉取崎  
展望台や  
川平湾で  
は沖縄な  
らではの  
透き通つ  
た海や白  
い砂浜  
を、米原  
では亜熱  
帯地方の  
植生を、  
美ら海水



川平湾にて

族館では世界最大級のサメであるジンベイザメや色鮮やかな熱帯魚を見ることができ、その二つに感動しました。



カヌー体験

また、毎朝早くに起きて、平井先生と二緒にホテルのビーチや那覇市内をカメラ片手に歩いて、普段と違った風景を切り取ることができました。

楽しいことばかりではなく、悲惨な沖縄戦についてもたくさん学ぶことができました。ひめゆりの塔、平和祈念資料館では負傷した兵士や一般市民の写真を見て、沖縄戦がどれほど残酷で悲しい時間を作り出してきたのかについてより深く考えさせられ、二度とこんなことがあってはならないと思わされました。

今は美しく楽しい沖縄という地域の悲しい過去について学び、今という平和な時代があることへの感謝の気持ちを強く感じる事ができました。沖縄はとても美しく、またそれ以上に悲しくもある地域だと今まで以上に思うようになりました。



### 修学旅行 アメリカ西海岸6日間

11月8日から13日までの4泊6日の日程で、富田校舎のアメリカ西海岸修学旅行が実施されました。現地の人々と英語によるコミュニケーションを積極的にを行い、充実した内容とすることができました。国内では体験することができない多種多様な文化や価値観に触れることができ、貴重な経験となりました。

#### 笑顔は世界共通語

進学コース2年1組  
鹿沼 夏音(大泉北中)

たくさん思い出を作ると心に決めた修学旅行、私はこの日をずっと楽しみにしていました。日本から遠く離れた土地でどのような5日間を過ごそうかと、しおりを何度も見直し、到着してからのことをいろいろ想像していました。そして、いざついたアメリカでは私の想像以上の文化の上に多くの違いを感じることができました。

一番印象に残っていることは、人々との交流です。サンタ



サンタモニカにて

モニカでのミッション型班別行動ではそのことを強く感じました。私は英語を話すのが苦手なのでコミュニケーションがとれるか不安でいっぱいでしたが、その不安はすぐになくなりました。なぜならアメリカの人はとても明るく優しい人がたくさんいると気づいたからです。笑顔で心がけて質問内容を現地の方に伝えると、ジェスチャーを交えながらゆっくり答えられました。この経験から私はコミュニケーションには笑顔が大切であるということに改めて実感しました。

#### 足利市訪米団の一員と

第18回青少年英語スピーチコンテストで優秀賞を受賞した特別選抜コース2年1組進藤蒼蒼乃さん(山辺中)が、11月15日、21日にかけて訪米団の一員として足利市の姉妹都市であるスプリングフィールド市に行ってきました。以下は、進藤さんの感想です。

私は5日間のホームステイをし、一緒に現地の学校に通いました。アメリカでは高校生で運転免許が取得できます。だから学校へは彼女の運転で登校していました。参加した英語の授業は、宿題で書いてきたエッセーについて細かく評価し合うという授業でした。日本ではあまり経験しない授業の展開で、友人が書いた文章に、意見す

私はこの修学旅行で初めての世界を肌身で感じる事ができて本当に良かったと思います。アメリカでは見るものすべてが新鮮で新しい発見も数多くありました。この貴重な経験を無駄にせず、これからの学校生活や将来に生かして生きていきます。



UCLAで説明を受ける生徒たち

るのは難しいことではないかと思いました。しかし、アメリカの高校生たちは何気ない友人同士の会話の中でも、自分の考えを深めたり意見を主張したりすることを当たり前のように行っているのです。

アメリカの高校生活は日本のように厳しい校則がなく、自由に思えました。しかしそれは、相手に礼を尽くすことを忘れず、自分の主張や行動に責任を持っているからこそ可能なのだと思いました。今回の経験を通過して、私は、ますます国と国との相互理解が重要になる社会において各国の文化・習慣を尊重しつつ、自身の意見をしっかりと主張できる国際人になりたいと思います。



ホストファミリーと

# 第24回合唱祭

心をひとつに、  
美しいハーモニー

11月16日、第24回富田校舎合唱祭がシールガルホールで開催され、130名を超える多くの保護者が練習の成果を聴きにいらつしやいました。今年度の課題曲は、superferryの越智志帆さん作詞による「Gifts」です。他に、各クラスの自由曲が披露されました。昼休みや放課後を利用して練習を重ね、本番ではどのクラスも素晴らしいハーモニーを作り上げました。課題曲では歌詞の情景を思い浮かべながら歌い、自由曲では、クラスごとの個性豊かな合唱となりました。

また第二部として、ゲストの石井道康さんによる唄三線、たきがわよしひろさんによる太鼓と和楽器のミニコンサートも行われました。たきがわさんは本校の卒業生で、現在は世界を股に掛けて演奏活動を行っています。高校生活で一度きりの合唱祭は、思い出に残る一日となりました。

11月16日、第24回富田校舎合唱祭がシールガルホールで開催され、130名を超える多くの保護者が練習の成果を聴きにいらつしやいました。今年度の課題曲は、superferryの越智志帆さん作詞による「Gifts」です。他に、各クラスの自由曲が披露されました。昼休みや放課後を利用して練習を重ね、本番ではどのクラスも素晴らしいハーモニーを作り上げました。課題曲では歌詞の情景を思い浮かべながら歌い、自由曲では、クラスごとの個性豊かな合唱となりました。



最優秀賞(進学コース1年2組)

## 合唱祭を終えて

進学コース1年2組  
姪間 秀太(富田中)

僕が合唱祭実行委員長として一番大切にしていたことは、音楽を楽しむことだと思います。

今回の課題曲である「Gifts」は、歌う人も聴く人も前向きな気持ちになれるような歌です。悲しみや苦しみを乗り越えた先に希望があることを、この歌は伝えていきます。どのクラスも心を一つにして、歌うことを楽しんでいました。

先日、英語の教科書でピアノソートの辻井伸行さんについて学習したとき、辻井さんは「音楽には力があると信じています。」と語っていました。僕もそうだと思いま



最優秀伴奏者賞の匂阪僚太くん



ゲストのたきがわよしひろさん

す。今回の合唱祭で、歌やピアノ、ゲストの方が演奏してくださった和楽器に心を動かされ、音楽の力を確かに感じました。これから、音楽を身近に感じながら音楽と共に生きていきたいです。

## 第24回 合唱祭 結果

- 最優秀賞** 進学コース1年2組
- 優秀賞** 進学コース1年1組
- 最優秀指揮者賞** 進学コース1年4組 小貫 莉奈さん(多々良中)
- 最優秀伴奏者賞** 進学コース1年1組 匂阪 僚太さん(板倉中)

## 大学見学 未来の自分を見つけよう

11月8日、1学年恒例の進路行事である、大学見学に出かけました。今年度は希望により①群馬大学コースと②宇都宮大学・白鷗大学コースの二コースに分かれての見学となりました。

①群馬大学コースにおいては、まず荒牧キャンパス(前橋市)にて群馬大学の概要説明及び社会情報学部を紹介を聞き、大学生と同様に学生食堂での



群馬大学荒牧キャンパス図書館にて



群馬大学理工学部研究室見学



宇都宮大学フランス式庭園にて



白鷗大学法廷教室で模擬裁判

②宇都宮大学・白鷗大学コースに  
昼食・キャンパス散策を行いました。次に訪問した桐生キャンパスでは研究室見学を行い、化学・機械・電子といった分野での最先端研究に直に触れることで、自身の知的好奇心を高め、将来の進路を考える上で大きな刺激を受けることが出来ました。

おいては、まず宇都宮大学・峰キャンパスを訪問し、大学説明に続いて、農学部教授による模擬授業を受けるという貴重な体験を受けることが出来ました。続く白鷗大学では完成したばかりの本キャンパス内の学食で食事をし、設備の充実した教室や図書館を見学する生徒達の目も輝いていました。

## おめでとう 足利市税務署長賞

11月13日に足利商工会議所で「税に関する高校生の作文」入賞者の表彰が行われました。本校からは、進学コース1年1組田部井涼君(白鷗足利中)が見事入賞し、税務署長賞をいただきました。

田部井君は、「税への思い」というタイトルで、スウェーデンと日本の社会福祉や高齢者福祉についての比較を自分なりに調べ、今後の政策の展望とともに、作文にしたためました。この作文では「共生社会」という言葉がキーワードになっています。自らポジティブに

行動すること、みんなのために「なり、より良い社会がづくられていくこと」でしょう。入賞者12人の作文は、本人によって朗読され、わたらせテレビで放映されました。緊張した面持ちの田部井君をご覧になった人もいるのではないのでしょうか。

## 平成30年度 納税表彰式



表彰を受ける田部井くん

# 富田校舎 体育祭



息を合わせて長縄跳び

10月2日に富田校舎グラウンドにおいて体育祭が開催されました。この頃、台風が日本に接近しており、その開催が予備日を含めて懸念されていました。しかし、生徒の気持ちが生徒の気持が勝つたのか予定通り開催することができ、天気も良くなり暑いぐらいの陽気となりました。

10月2日に富田校舎グラウンドにおいて体育祭が開催されました。この頃、台風が日本に接近しており、その開催が予備日を含めて懸念されていました。しかし、生徒の気持ちが生徒の気持が勝つたのか予定通り開催することができ、天気も良くなり暑いぐらいの陽気となりました。

今年度から新競技としてクラス対抗「長縄跳び」が加わりました。例年、走ることが多かった体育祭でしたが、走ることが苦手な生徒もクラス全体として盛り上げられるようになった先生方や保護者の方まで巻き込んでグラウンドにたくさん笑顔があふれました。生徒達に「借りられて、グラウンドを急に走る」となった先生方や保護者の方などの困り顔や笑顔は見ていてとても微笑ましいものとなりました。また同じ盛り上がりでも皆の表情が真剣になる「スウェーデンリレー」や「クラスリレー」も例年になく白熱していました。特に、クラスリレーは午前中最後に行われる予選から全競技の締めくくりとして行われる決勝まで、各クラスの威信をかけてみんな真剣です。結果として男子は進学2の3が優勝候補の3年生たちを破り優勝、女子は進学3の2が後

ようになり立案されました。そのせいもあつてか、各クラスが昼休みに体育館で練習している姿を体育祭前日まで何度も見受けられることが出来ました。当日はこの長縄跳びから競技がスタートしました。どのクラスも大変盛り上がり、おかげで今年の体育祭もスムーズに進行していきましました。また、去年から加わった「借り物競争」では先生方、さらには保護者の方まで巻き込んでグラウンドにたくさん笑顔があふれました。生徒達に「借りられて、グラウンドを急に走る」となった先生方や保護者の方などの困り顔や笑顔は見ていてとても微笑ましいものとなりました。また同じ盛り上がりでも皆の表情が真剣になる「スウェーデンリレー」や「クラスリレー」も例年になく白熱していました。特に、クラスリレーは午前中最後に行われる予選から全競技の締めくくりとして行われる決勝まで、各クラスの威信をかけてみんな真剣です。結果として男子は進学2の3が優勝候補の3年生たちを破り優勝、女子は進学3の2が後



威信をかけたクラスリレー



全力で綱引き

輩達を抑えて貴録の優勝となりました。今年も白鷗賞としてクラスリレー勝者には豪華賞品が贈呈されました。全体の結果としては進学2の4が3年生を抑えての総合優勝、続いて女子のクラスリレーを始めとする総合力で進学3の2が2位、同じく総合的に優れていた進学3の4が3位に入りました。1年生は総合順位では先輩達に及びませんが、要所で健闘をしている数々のシーンが印象的でした。また、学年の部では、

## 学生科学賞栃木県大会に出展しました(科学部)

10月4日に栃木県総合教育センターで行われた、日本学生科学賞栃木県大会に研究成果をまとめたポスター資料を出展しました。発表した研究は、植物のもつタンパク質分解酵素の役割について調べたものです。パパイヤなどのいくつかの植物は、タンパク質分解酵素を持つのですが、ヒトのよう

1年生は進学1の2、2年生は進学2の4、3年生は進学3の4がそれぞれ優勝という結果になりました。

今年の体育祭も大きなトラブルも無く十分な盛り上がりを見せていたと思います。もちろん、その陰には体育祭実行委員や生徒会、また視聴覚委員、美化委員、風紀委員など多くの生徒達の努力もありました。今年もこの学校全体で取り組む行事が成功して心から良かったと思います。

### 平成30年度 富田校舎体育祭 結果

総合	優勝	進学コース2年4組
	準優勝	進学コース3年2組
	第3位	進学コース3年4組
学年	第1学年 優勝	進学コース1年2組
	第2学年 優勝	進学コース2年4組
	第3学年 優勝	進学コース3年2組

に消化器官をもたない植物が、何故そのような酵素を持つのか疑問に思いました。そこで、酵素の最適温度と多く含まれる部位を明らかにする事で、酵素の役割が推測できるのではと考えました。パパイヤを畑で栽培し、試料として葉、茎、果実を採取し、様々な温度条件下でタンパク質分解量を測定しました。実験の結果、酵素は果実に多いことや、37℃付近でよく働く事が分かりました。これらの結果から、タンパク質分解酵素には未成熟果実が動物に捕食されるのを防ぐはたらきがあるのではないかと考えています。残念ながら入賞には至りませんでした。研究の着眼点や、パパイヤの栽培について評価を頂けました。来年は入賞出来るように、探究活動に勤しみたいと思います。



科学部の部員たち

富キャンExpress vol.26 26号の右側のカモメの口は富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿写真等の協力ありがとうございました。

富キャンExpress 編集  
富田大学足利高等学校富田校舎  
足利市多田木町1067  
0284-912633  
足利印刷株式会社  
平成31年1月5日